

足羽川ダムの概要

もともと、旧美山町、池田町にまたがる治水、利水を目的とした多目的ダムとして1967年に計画。しかし、水没集落が220戸と非常に多く、反対運動の激化で白紙となった過去を持つ。

福井県と福井市が利水事業から撤退を表明したため、治水専用ダムとして池田町の部子川（へこがわ）をダムサイトとする案が再び浮上。現在に至る。

足羽川ダム建設計画の流れ

- ・1967年 建設省（現・国土交通省）が予備調査に着手
- ・1970年 美山町会が反対決議
- ・1974年 美山町内にダム反対期成同盟会が立ち上がる
- ・1982年 池田町下池田地区にダム対策委員会
- ・1983年 建設省が実施設計調査に着手する
- ・1992年 美山町、池田町にまたがるダムの概要が明らかになる
- ・1995年 足羽川ダム建設事業審議委員会を設置
- ・1997年 審議委員会が建設の不適正を最終答申。「現計画は適当ではない」。これを受けて、近畿地方整備局は計画を白紙に。同年、河川法が環境を視点とした部分で大幅に改正。
- ・1999年 足羽川の支流である池田町の部子川（へこがわ）をダムサイトとする代替候補案を表明
- ・2002年5月 九頭竜川流域委員会を設置
- ・2002年7月 国が部子川（へこがわ）のダムサイトを足羽川ダム計画として提案することを発表
- ・2004年3月 第20回流域委員会で、足羽川の治水対策は河床掘削とダム建設を中心とすることを確認
- ・2004年7月 福井豪雨 足羽川流域に甚大な被害をもたらす記録的豪雨となる